

2024年4月24日

各 位

会社名 株式会社オリエントタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則  
(東証スタンダード市場・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

## **株式会社オリエントタルコンサルタンツ ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2024にて 最優秀賞を受賞**

岐阜県大垣市（市長：石田仁）と当社グループの基幹会社である株式会社オリエントタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、2024年4月23日に開催されたジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2024にて、協働で実施した「スマート防災（防災×DX）における防災行政の高度化支援」が最優秀賞を受賞しました。今回の最優秀賞は、防災行政の取組みとして、事前防災対策時（浸水イメージの理解促進）、氾濫発災時（浸水情報の把握の迅速化）の高度化が期待され、他自治体にも波及可能性があることなどが評価理由となっています。

今後、同社は、ハード・ソフトの両面からDX技術を活用し、地域の強靱化、国土の強靱化に向けた防災行政の支援を行ってまいります。

なお、同社でのジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）の受賞は、2019年以降6年連続、延べ8回目となります。

### **【受賞案件の概要】**

岐阜県大垣市の市街地エリアを対象に3D都市モデルを作成し、内外水の氾濫解析結果を可視化することにより浸水状況を時系列に把握できる「動くハザードマップ（動画）」を作成しました。これにより、事前防災対策時における防災教育や訓練に活用することができ、水害の「自分事化」を推進することが期待されます。また、市内の浸水しやすい箇所にワンコイン浸水センサを設置し、氾濫発災時にリアルタイムで浸水状況を把握することができる仕組みを整備しました。これにより、氾濫発災時における避難行動支援に活用することが期待されます。

### **【過去の同社でのジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）の受賞】**

- 2015年：優良賞、「土砂災害ハザードマップと土砂災害避難行動計画の作成」
- 2019年：最優秀レジリエンス賞、「土砂災害警戒支援システムの開発」
- 2020年：優秀賞、「土砂災害から山間地域を守るための総合支援」
- 2021年：優秀賞、「コロナ禍を考慮した6年連続となる防災シンポジウムの企画・運営」  
優秀賞、「山間部の溪流調査を効率的に実施するための総合支援」
- 2022年：最優秀賞、「風水害から住民の皆様の命を守るための防災行政の支援  
～防災DXによる災害時の防災行政マネジメントの検証～」
- 2023年：最優秀賞、「国土強靱化地域計画+DX」に基づく全庁職員訓練

## 【ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）について】

ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が2014年11月に創設した賞です。次世代に向けたレジリエンス社会構築へ向けて、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる先進的な企業・団体が評価・表彰されるものです。



ジャパン・レジリエンス・アワード

2024

※一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（Association for Resilience Japan）

国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえ、「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャパンでその叡智を結集し、非常時のみならず平時での戦略的活用の方策を創造することにより、公共投資、民間投資が最大限に相乗効果を発揮し、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立。



左：中林一樹 東京都立大学 名誉教授  
中央：立松明憲 岐阜県大垣市役所 副市長  
右：中尾 毅 同社執行役員 防災事業部 事業部長

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
E-mail: [webmaster@oriconsul.com](mailto:webmaster@oriconsul.com)  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
URL : <https://www.oriconsul.com/>  
統括本部 伊藤、丸山、門司